

会 議 録	
会議名	令和 3 年度第 2 回在宅医療・介護連携推進協議会 広報啓発部会
日 時	令和 3 年 8 月 3 日 (火) 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場	三郷市医師会館大会議室
参加者	<p>【部会長】吉寄 太朗 (吉崎歯科医院)</p> <p>【副部会長】丸山 菜穂子 (みさと南訪問看護ステーション居宅介護支援事業所)</p> <p>【委 員】磯 知恵 (地域包括支援センターみさと南)、</p> <p>【サポートセンター/医師会事務局】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】八巻絢子 高橋真一</p> <p>【欠席】白井 健志 (三郷中央総合病院)、 栗原 一樹 (采女の里デイサービスセンター)</p>
検討課題	<p>1. 冊子作成の検討</p> <p>2. 今後の予定</p>
内 容	<p>1. 前回の会議で ACP にふれる最初の段階について冊子でまとめることにした。対象は健康な人とし、年齢を問わずに啓発できるもの。ACP について各自考えたものを提出し、今回まとめ、具体的にどう制作するか検討した。</p> <p>(以下検討結果)</p> <p>1) 冊子の様式 (昨年制作した「介護の絵本」と同じ) B5 サイズ横、中綴じ、マット紙 110 kg、カラー</p> <p>2) 予算 (報酬費を除き 20 万) 予算内に収めるため冊子の制作部数の縮小を検討 見積り案として去年 3000 部から今年は 1500 部へすることにした。</p> <p>3) 冊子構成</p> <p>①ACP とは何か</p> <p>②例題として前回の登場人物を使い、物語を作る。</p> <p>③ACP について細部の説明</p> <p>④「私の人生ノート」の紹介</p> <p>4) 物語の内容</p> <p>高齢者と 30 歳～40 歳位の家族の例の 2 パターンを作る。</p> <p>高齢者に対し、終末に向かって家族と考えましょうではなく、年齢に関係なく大切な人と理解し合うために話し合いをする機会を持ちまし</p>

ようという ACP 啓発冊子にする。

●アヤコさん（高齢者、要支援、独居、訪問介護利用者）

（動機付け）：コロナ禍、デイサービス行けない。なかなか家族に会えなくて困る。

（大切なことを考える）：自分の今後について不安を感じた。

（信頼できる人との話し合い）：娘（ひとみ）さんが会いに来た。話してみよう。今後の不安についてや大切に思う事等を話し合った（絵で話した色々な物事を示す）

（共有）：ひとみさんはあやこさんの大切にしている事や思いの色々をノートに書き留めた。

“分かっているつもり”を話して良かった！！

●ヒトミさん（夫、子供 2 人）

（動機付け）：コロナ禍、母との会話の経験から

（大切なことを考える）：母への心配から自分の不安へ

（信頼できる人との話し合い）：夫と「おばあちゃんこんな話をしてきたよ」と話を投げかける。子育ての事、事故や病気になった時私だったらと夫婦で話す。夫もひとみさんに同じように話してみる。

（共有）：自分や大切な人の思いや考えの整理や子供に伝えられるように書き留めて置く。

“私の人生ノート”使ってみよう。

※夫婦バージョンと家族バージョンの 2 つを作り、どちらがいいかを決める。

5) 物語以外の内容

1) ACP とは何か

分かりやすく、簡潔にまとめる。

2) ACP について細部の説明

- ・いつ、何を話したらいいなど人生ノートの取っ掛かりに。
- ・Q&A など
- ・人生会議の 4 ステップ（繰り返し行うことの大切さ）

3) 「私の人生ノート」の紹介

QR コードを載せてデータのダウンロードに繋げる。

6) データ作成時の注意点

介護の絵本の続編となるのでデータ作成も前回は踏襲する。

- ・高齢者も読むので分かりやすく、絵を多く文字も大きくする。
- ・枚数は 4 の倍数 32 頁をあまり超えないように
- ・シートは B5 の大きさ+マチ部分（26.3 cm×18.8 cm）で作る

	<ul style="list-style-type: none"> ・背景に色をいれない。入れる場合は分かるように文字で書いて指定してください。 ・文字は画像にしない（文字が滲んでしまう） ・字体（游ゴシック）で統一。 ・文字の大きさ字体などの参考に MCS で去年の「介護の絵本」のデータを上げる。
結論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 八巻さんが MCS でストーリーの骨子の部分を考えて MCS で上げて貰う。 2. 川島が皆さんの上げて頂いた資料を参考にして ACP とは何か、ACP の細部についての案データをあげる。 3. MCS でデータを上げたものを皆で考え、編集していく 4. MCS 上にて制作データの完成を目指していく。
次回検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に本の作成依頼が出せるようにデータ化する。今年中に本を注文できるようにする。
次回開催日時	令和 年 月 日 () 13 : 30～